

【年表】観桜会にかかわる主な出来事

No.	和 暦	西 暦	月 日	出 来 事
01	明治40年	1907	5月	第十三師団の兵営地が、高田に決定される。
02	明治41年	1908	10月20日	在郷軍人団が第十三師団の兵営内に植樹するため、在郷軍人を対象に募金を開始する。
03	同 年	同 年	11月 1日	高田町と高城村が合併、新・高田町が発足する。また、同日第十三師団が高田町へ入営を開始する。
04	明治42年	1909	4月12日	在郷軍人団が八重、一重の桜の苗木計2,000本を寄付する願書を第十三師団へ提出する。
05	明治44年	1911	9月 1日	高田市が発足する。
06	大正 3年	1914	4月	第十三師団の兵営内の桜が咲き始める。
07	大正 6年	1917	4月17～19日	第十三師団が、司令部構内及び偕行社庭内の桜の花見を3日間に限り、市民へ開放する。
08	同 年	同 年	12月 1日	高田商工会が発足する。
09	大正11年	1922	4月15～18日	師団の桜の公開期間が4日間に、観覧時間も2時間延長され8:00～18:00となる。また、偕行社庭内での露店の営業が許可される。
10	大正12年	1923	4月15～19日	師団の桜の公開期間が5日間に延長される。
11	大正13年	1924	4月15～24日	師団の桜の公開期間が10日間に延長される。また、呉服町(現本町3目)の有志が、神社前と偕行社庭内にアーケドを設置する(夜桜会の開始)。アーケドの設置に伴い、偕行社庭内の観覧時間が8:00～24:00まで延長される。
12	大正14年	1925	4月15～19日	高田商工会・高田実業連合会が、司令部通りから偕行社までの道路及び偕行社の庭内に雪洞を点灯する。(師団の桜の公開期間は10日間)
13	同 年	同 年	5月 1日	第十三師団が解散する。その後、歩兵第十五旅団司令部、歩兵第三十連隊、独立山砲第一連隊が高田に移転・入営する(高田連隊区司令部は存続)。
14	大正15年	1926	4月	高田商工会が観桜会のポスターを作成し、名古屋鉄道管理局管内の各駅に掲示する。
15	同 年	同 年	4月15～24日	高田商工会・高田実業連合会・高田各宗教連合会が、様々なイベントを盛り込んだ第1回観桜会(花見会)を開催する。 ※ 川合直次高田市長が、「高田の夜桜」を、「長良川の鵜飼」、「厳島の灯籠」と並ぶ「三夜景」の一つと表現する。
16	昭和 2年	1927	7月 8日	高田保勝会が組織され、これ以降高田商工会に代わり観桜会を主催する。
17	昭和 3年	1928	11月 5日	在郷軍人会高田市連合分会が、昭和天皇御大典記念事業として「桜之碑」を建立する。
18	昭和 4年	1929	10月 1日	高田商工会が発展解消し高田商工会議所が発足(設立総会開催)。
19	昭和 8年	1933	4月頃	桜植樹25周年を記念し、高田保勝会が偕行社付近から騎兵隊跡地に1,000本を補植する。
20	昭和12年	1937	2月12日	高田保勝会が高田観光協会に改称する。
21	昭和19年	1944	4月	戦局の悪化により観桜会が中止となる。
22	昭和21年	1946	4月	観桜会が再開される。
23	昭和22年	1947	4月15～24日	観桜会の夜桜が復活する。
24	昭和23年	1948	4月	「高田を美しくする会」が発足し、昭和25年から観桜会場内の桜の補植を行う。
25	昭和25年	1950	11月10日	高田城跡が都市計画に基づき、高田公園に指定される。
26	昭和29年	1954	2月10日	高田城跡が県指定史跡になる。
27	昭和33年	1958	4月 2日	高田公園に野外ステージが完成し、落成式が挙行される。
28	昭和37年	1962	4月10日	厚生会館(上越市発足後、厚生南会館に改称)の落成式が挙行される。
29	昭和43年	1968	* * *	日本さくらの会と日本宝くじ協会から桜の苗木千本が寄贈され、高田公園・城山浄水場・春日山に移植される。
30	昭和44年	1969	4月12～21日	この年、NHKで「天と地と」が放映され、会期中約28万人の人流がある。
31	昭和46年	1971	4月29日	高田市と直江津市が合併し、上越市が発足する。
32	昭和47年	1972	4月	第1回ミスさくらコンテストが行われる。(平成8年の第25回で終了)
33	昭和55年	1980	3月 3日	桜が「市の木」に制定される。
34	昭和63年	1988	7月20日	北陸自動車道が全区間開通する。
35	平成 元年	1989	4月 1日	西堀橋が竣工し、渡り初めが行われる。
36	平成 2年	1990	* * *	「さくら名所100選」に選ばれる。(日本さくらの会創立25周年事業)
37	平成 5年	1993	4月 2日	高田城三重櫓が復元される。協賛行事として高田藩大名行列が実施される。
38	平成 8年	1996	4月11～29日	初めて100万人の大会を超える115万人が訪れる。(開花が遅れ会期を延長)
39	平成 9年	1997	1月22日	1万本の桜が咲き誇るまちづくり推進委員会が発足する。
40	同 年	同 年	3月22日	北越北線(愛称:ほくほく線/犀潟駅・六日町駅)が開業する。
41	同 年	同 年	4月 5～21日	観桜会の名称を「高田城百万人観桜会」に改称する。
42	同 年	同 年	4月13日	第9回さくらサミットin上越が開催される。
43	同 年	同 年	5月17日	高田・直江津の両観光協会を統合し、上越観光コンベンション協会が発足する。
44	平成10年	1998	4月 4～19日	観桜会にあわせて本丸跡に江戸時代の街並みを再現し「越後・高田七十五万石時代まつり」が開催される。
45	平成11年	1999	10月30日	上信越自動車道が全区間開通する。
46	平成14年	2002	4月 3～21日	「日本三大夜桜」のキャッチフレーズが、観桜会のポスターに初めて用いられる。
47	同 年	同 年	4月 6日	極楽橋が復元され、渡り初めが行われる。
48	平成17年	2005	4月2～21日	観桜会80周年。この年から「第〇回」の冠が付けられるようになる。
49	平成26年	2014	3月14日	「高田公園桜長寿化計画」が策定される。
50	同 年	同 年	6月14日	桜プロジェクトJが発動し、第1回目の活動が行われる。
51	平成27年	2015	3月14日	北陸新幹線長野・金沢駅間が営業を開始する。
52	同 年	同 年	4月3～19日	第90回観桜会、過去最高の133万人の人流がある。
53	平成29年	2017	9月29日	市民交流施設「高田公園オーレンブラザ」が開館する。
54	令和2年	2020	4月 1日	「高田公園」から「高田城址公園」へ改称。
55	令和2年	2020	3月28日～ 4月13日	第100回高田城址公園観桜会が開催される。